

エコライフデーのすすめ

～エコライフデー取組の手引き～



毎月 **5日** は **エコライフデー** !

鹿児島県では、毎月5日をエコライフデーとし、
県民の皆さんと、電気、水、燃料などの省エネ活動やエコ
ドライブに取り組んでいます。

県民みんなで、地球温暖化防止に積極的に取り組みま
しょう!



©鹿児島県ぐりびー・さくら

【地球環境を守るかごしま県民運動推進会議事務局】

鹿児島県環境林務部環境林務課地球温暖化対策室 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL 099-286-2586 FAX 099-286-5539

鹿児島県地球温暖化防止活動推進センター 〒891-0132 鹿児島市七ツ島1丁目1番地5

(一般財団法人 鹿児島県環境技術協会) TEL 099-284-6013 FAX 099-284-6257

こうして起こる地球温暖化

地球温暖化とは

太陽から地球に降り注ぐ光は、地球の大気を素通りして地面を暖め、その地面から放射される熱を大気中の二酸化炭素、メタンなどの温室効果ガスが吸収し、大気を暖めます。これを「温室効果」といいます。

現在、地球の平均気温は 14℃前後ですが、もし温室効果ガスがなければ、マイナス 19℃くらいになるといわれています。

産業革命以降、産業活動が活発になり、二酸化炭素 (CO₂)、メタン、さらにはフロン類などの温室効果ガスが大量に排出されるようになり、大気中の温室効果ガスの濃度が高まった結果、温室効果が強められ、地球全体として気温が上昇し始めています。これが地球温暖化です。

地球温暖化の影響について

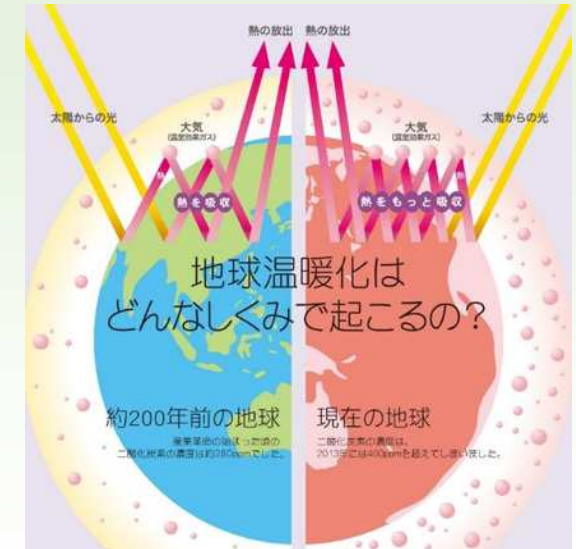
気温や海水温度が上がると、山や大陸の氷がとけ出し海水の量が増えるとともに、海水の体積が増えて海面が上昇し、洪水や高潮の被害の拡大が予測されています。また、年間降水量の変動幅が大きくなることで、大雨や渇水の発生する可能性が高くなることや、海水温の上昇等により強い台風が発生しやすくなることが考えられます。

そのほか、農林水産物の収量の変化や品質の低下、熱中症の増加や熱帯地方の感染症の発生地の拡大なども予測されています。

地球温暖化を防ぐために

温室効果ガスの大気中の濃度をこれ以上増やさないための取組が世界中で進められています。温室効果ガスの1つである二酸化炭素は、日常生活のあらゆる場面で発生しています。エアコンや照明、テレビなどで使う電気を作る発電所から、自動車からの排気ガスとして、料理をするコンロから、水道も水を浄化する際に電気を利用しています。

地球温暖化を防ぐために、私たち一人ひとりが、二酸化炭素の排出量を減らすよう生活を見直していく必要があります。



資料) 全国地球温暖化防止活動推進センター

1 海面上昇 高潮 <small>(沿岸、島しょ)</small>	2 洪水 豪雨 <small>(大都市)</small>	3 インフラ 機能停止 <small>(電気供給、医療などのサービス)</small>
4 熱中症 <small>(死亡、健康被害)</small>	将来の 主要なリスク とは? 複数の分野地域におよぶ 主要リスク <small>出典) IPCC 第5次評価報告書 WGII</small>	5 食糧不足 <small>(食糧安全保障)</small>
6 水不足 <small>(飲料水、灌漑用水の不足)</small>	7 海洋生態系 損失 <small>(漁業への打撃)</small>	8 陸上生態系 損失 <small>(除滅及び内水の生態系損失)</small>

資料) 全国地球温暖化防止活動推進センター

二酸化炭素を減らしていこう！

地球環境を守るかごしま県民運動って？

私たちの日常生活や通常の事業活動において、電気や燃料の消費、自動車の使用、ごみの排出など身近なところから、地球環境の保全のための具体的な実践活動に取り組み、かけがえのない地球環境を守り育て、次の世代に引き継いでいくことを目的としています。

＜推進母体＞

事業団体、民間団体、行政など約160の団体で構成する
「地球環境を守るかごしま県民運動推進会議」

＜運動の内容＞

- ① 毎日5日をエコライフデーとし、毎月のテーマに合わせて、省エネ・省資源やエコドライブなどの環境保全活動に取り組みます。
- ② 毎年1回、県民運動推進大会を開催します。
- ③ 県民運動を広く知ってもらうとともに、実践活動への取組を促すため、広報活動やイベントを実施していきます。

省エネ行動チェックリストやエコライフデーに取り組もう！

- ① 省エネ行動チェックリストの取組項目及び月毎の重点取組項目にあわせて、取組を実施してみよう！
- ② 日々の生活の中で重点取組項目を実践できたかどうか、毎日自己点検してみよう！
- ③ 電気、ガスなどの使用量を記入して、生活の中でどれだけ二酸化炭素を排出しているかチェックしてみよう！

エコライフデーの
手引きを活用して
地球に優しい暮らしを
してみませんか



環境家計簿をつけてみよう！

次のページの表を使って、1年間で家庭からどのくらい二酸化炭素（CO₂）を排出しているのか、計算してみましょう。

＜環境家計簿のつけ方＞

①請求書などをみて、使用量と金額を記録しましょう。

毎月の電気、都市ガス、LPガス、ガソリン及び灯油の使用量と金額を、請求書などを参考に記入してください。

②二酸化炭素排出量を計算して記録しましょう。【使用量 × 排出係数 = 二酸化炭素排出量(kg)】

使用量に、それぞれの排出係数をかけた値が、二酸化炭素排出量となります。

（例）電気の使用量が10kwhの場合 使用量10kwh×排出係数0.296＝二酸化炭素排出量2.96kg

排出係数 電気は九州電力(株)の基礎排出係数（令和3年度）による

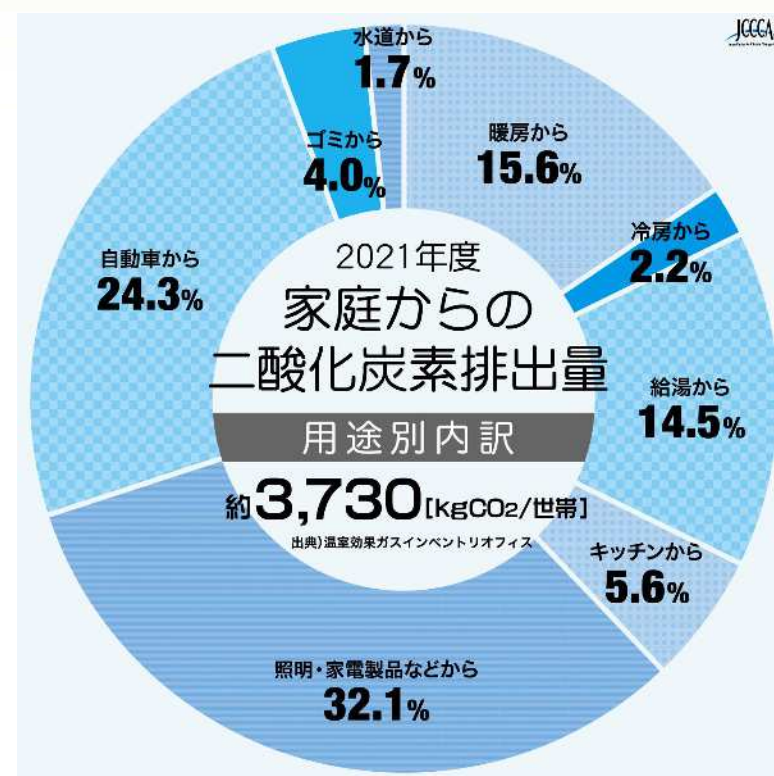
その他は、環境省「温室効果ガス排出量の算定・報告・公表制度」より引用

注目！

家庭ではこんなところから 二酸化炭素が排出されています。

2021年度の家庭からの二酸化炭素排出量は1世帯当たり約3,730kgです。そのうち、照明・家電製品などが32.1%、自動車が24.3%を占めています。

2050年カーボンニュートラルの実現に向けては、家庭での省エネが大事なポイントになります。



資料) 全国地球温暖化防止活動推進センター



環境家計簿

毎月計算した二酸化炭素排出量を下の表にまとめ、1年間の光熱費と家庭から排出された二酸化炭素の量がどのくらいになるのか確認しましょう。

			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	比較
電気	排出係数	使用量 (kWh)														① ①-②= kWh③ ③×0.296= kg-CO ₂
	× 0.296	CO ₂ (Kg)														
		金額 (円)														
	昨年の使用量 (kWh)															
都市ガス	排出係数	使用量 (m ³)														① ①-②= m ³ ③ ③×2.31= kg-CO ₂
	×2.31	CO ₂ (Kg)														
		金額 (円)														
	昨年の使用量 (m ³)															
LPガス	排出係数	使用量 (m ³)														① ①-②= m ³ ③ ③×6.55= kg-CO ₂
	×6.55	CO ₂ (Kg)														
		金額 (円)														
	昨年の使用量 (m ³)															
ガソリン	排出係数	使用量 (L)														/
	×2.32	CO ₂ (Kg)														
		金額 (円)														
灯油	排出係数	使用量 (L)														
	×2.49	CO ₂ (Kg)														
		金額 (円)														
合計	CO ₂ (Kg)															
	金額 (円)															

(記載例) 電気の使用量が10kwhの場合 使用量10kwh×排出係数0.296=二酸化炭素排出量2.96kg

省エネ行動チェックリスト

省エネ・省資源に取り組んでみよう！

★毎日、省エネ行動チェックリストをチェックし、取り組んだ項目に○をつけよう！

月



取組項目	削減量 (g/日)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	できた日数		
1 エアコンの設定温度に気をつけた。(室温の目安28℃)	102																																	日	
2 冷房は必要なときだけつけるようにした。	64																																	日	
3 照明を使わないときはこまめに消した。	5																																	日	
4 テレビを見ていないときはこまめにスイッチを切った。	17																																	日	
5 テレビの画面は明るすぎないように調節した。	34																																	日	
6 ビデオゲームの使用時間を短くした。	106																																	日	
7 冷蔵庫は、中に物を入れすぎないようにした。	54																																	日	
8 冷蔵庫を開けている時間を短くした。	8																																	日	
9 野菜の下ごしらえに電子レンジを活用した。	31																																	日	
10 電気便座は使わない時はフタをしめた。	43																																	日	
11 掃除機をかける前に部屋を片付けた。	4																																	日	
12 使わない電気製品は主電源を切った。またはコンセントを抜いた。	120																																	日	
13 お風呂は家族で間隔を空けずに続けて入った。	233																																	日	
14 シャワーをこまめにとめた。	78																																	日	
15 台所や手洗いで水をこまめにとめた。	6																																	日	
16 買い物をする時はマイバッグを使った。	1																																	日	
17 水筒やマイボトルを使って、ペットボトルの使用を減らした。	92																																	日	
18 車の運転は加速や減速の少ない優しい運転をした。	220																																		日
19 車の発進時にふんわりアクセル「eスタート」をした。	627																																		日
20 車の運転時に早めのアクセルオフを心がけた。	136																																		日
21 アイドリングストップを心がけた。	130																																		日
22 近くに行くときは、車から徒歩や自転車に替えた。	141																																		日

県民の皆様ができる取り組みを紹介しています！

鹿児島県は、県民・事業者・行政が力を合わせて、一体となって地球温暖化策を積極的に推進することにより、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロとする、カーボンニュートラルを目指しています。私たちは、地球温暖化を抑えなければならないこと、そのためには温室効果ガスの排出量を削減する必要があることを理解した上で、自分たちでできることから取り組みましょう。

県民の皆様ができる取り組みを鹿児島県のホームページで紹介していますので、ぜひご覧ください。



(県HP)

